

姫川流域の蒲原沢で平成8年12月6日に14名の尊い人命を失い、9名の負傷者を出した土石流災害がありました。松本砂防事務所工事安全対策研究発表会は、この災害を風化させることなく、砂防工事現場の安全対策に活かすことを目的に平成9年度から実施しており、25回目となる今回は令和5年2月9日に長野県松本市において開催しました。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、会場及びWebの併用とし、発注者及び工事受注者等、あわせて244名（WEB参加208名、会場参加36名）の皆様にご参加頂きました。今年度は、砂防工事の安全対策に関する論文について39編の応募があり、優れた6編について発表がありました。各現場では様々な安全対策に関する取り組みがされており、砂防工事現場の安全対策のさらなる向上に繋がることが期待される発表会となりました。

・**最優秀賞** (株)相模組 荒井 良太
「籠川第2号帯工補修その3工事における
安全対策について」

・**優秀賞** (株)傳刀組 勝川 和明
金森建設(株) 岡村 史生
小谷建設(株) 小林 卓司

・**入選** サウンド建設(株) 内川 豊
(株)笠原建設 佐藤 和久

○特別講演
～北陸地方整備局における
インフラDXの取り組み～

北陸地方整備局 企画部
建設情報・施工高度化技術調整官 小幡 淳



工事受注者による論文発表



会場の様子



論文発表者集合写真